

ブラウンバックセミナー Brown Bag Seminar

2021.4.21

(水)

日
同時通訳
英

オンライン
(Zoom)
技術支援
九州大学 Q-AOS & TEMDEC

12:10 12:10-12:15 紹介
12:15-12:40 プレゼン
12:50 12:40-12:50 質疑応答

ポスト・コロナとアジア超高齢化社会を見据えた遠隔予防医療サービス

司会：清水周次 教授 (Q-AOS 機構研究統括)

本セミナーでは、ポスト・コロナ時代の超高齢化アジア社会を予測した持続可能な遠隔予防医療サービスの実用性・有効性研究について共有します。新型コロナウイルスパンデミックにより高齢者、慢性疾患患者を含む多くの人々のため、病院に行かなくても遠隔で問診・検査・診断・治療・経過観察できるシステムのニーズが高まっています。また、超高齢化が予測されているアジア地域では、COVID-19、結核、マラリアなどの感染症と糖尿病、高血圧、うつ病などの非感染症の2重苦に直面しています。これらの社会問題を解決すべく、九州大学ではポータブル・ヘルス・クリニック (PHC) と呼ばれるオンラインによる遠隔予防医療システムの開発研究を2010年からバングラディッシュのグラミンググループと協働で実施しています。現在は、バングラディッシュ以外にも、インドネシア・ガジャマダ大学、マレーシア大学・サバ校、インド・ビヤニ大学等と協働研究を実施しており、本セミナーではコロナ禍におけるPHC共同研究活動から学んだ教訓を共有します。



横田 文彦 准教授

研究推進コーディネーター
九州大学アジア・オセアニア研究教育機構 (Q-AOS)

横田文彦氏は2021年3月から、九州大学アジア・オセアニア研究教育機構で研究推進コーディネーター・准教授に従事しています。カリフォルニア大学・ロスアンゼルス校で公衆衛生の修士号、ルイジアナ州・チュレーン大学で熱帯医学・公衆衛生の博士号を取得。前職では、アジア開発銀行の疫学専門家、また国際NGOであるクリントン財団においてインドネシアやパプアニューギニア (PNG) の HIV/ エイズ予防の国家プロジェクトに従事。インドネシアや PNG では全州100以上の病院やクリニックを訪問し、現地疫学調査でのデータ収集・統合、解析、報告書作成、政策提言を主導してきました。



登録はこちらから

https://zoom.us/webinar/register/WN_PkBcQiUZRBu_XMeHH50e3w